

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画

「但東地域の学校の将来について考える」但東地域施設一体型小中一貫校説明会 会議録

■ 開催日 2024年7月3日（水）19:00～20:25

■ 会場 但東市民センター 市民ホール

■ 出席者 参加者 74名
教育委員会 9名

■ 質疑・意見交換（要旨）

意見・質問	回答
<p>良い教育をするためには、良い先生が必要だ と思う。その教育現場がブラック企業のように なっていることは全国的に知られているが、豊 岡市では、その状況はもう解消したのか。また、 解消する見込みはあるのか。</p> <p>以前、中学校の先生から、社会の多様性によ り、尖った人間を作っていく必要があるという 話があり共感した。いざ、これをやろうとな ると、中々困難であるという話であった。この小 中一貫校ができれば、そういうことを真剣に考 えていただき、例えば、地域の活性化を担うよ うな人材を作ってもらいたい。</p>	<p>教員の働き方改革については、実際メディア でも、大きく取上げられているが、他業種との 比較では、まだまだ努力が必要である。豊岡市 では2018年から「働き方改革推進方針」を作 成し、昨年度、それを改訂し、取組を進めている。 2018年度と時間だけを比較した場合には、小中 共に超過勤務時間は減少してきている。</p> <p>ただ大事なのは教員の実感で、その辺りをフ ォローするためにも、地域や保護者のご理解を しっかりと得ながら、業務改善に取り組んでい く。</p> <p>例えば、留守番電話の設置について、保護者 にご理解をいただいたり、市の「教育委員会だ より」を使い教員の実際の勤務実態をお知らせ したり、丁寧に進めていきたい。教員の実際の 業務改善に向けては、例えば、月当たりの超過 勤務時間45時間以内の目標達成など、我々も一 緒になって、様々な策を打出しながら進めてい きたい。</p> <p>尖ったような教育内容というお話があった。 例えば、竹野地域でワークショップをした時 に、保護者や地域の方から、尽きない探求心 をもった子ども、物怖じせず意見をできるこ どもに育ててほしい。また、得意分野を伸ば してほしいなどの意見が出た。そういったこと を今後どうカリキュラムのなかに組込んでい くのかということ、地域の方がどんな子ども に育てたいのかということ踏まえ、学校側と 協力しながら、どんなことで学びを作ってい くかを考えて、今進めている。</p> <p>竹野地域では、ふるさと教育を単に体験だ けで終わらせずに、そこから子ども達が得意 分野や好きな分野を探求し、他の科目、他の 項目と結び付けながら自分達の発想で考え ていくような環境ができないかという提言を いただき、そういった方向も含めて今学校で 考えていただいている。</p>

	<p>どういった内容で考えるのかはそれぞれ違うかもしれないが、少なくとも同じような教育ではなく、子ども達一人ひとりのひらめきのようなものを大切にしながら、子どもの伸ばしたいところを伸ばす教育も必要なのではないかと、今検討していただいている。</p> <p>但東地域でも同じように、例えばワークショップなどをさせていただき、どのような教育をしていきたいかということも含め、今後の課題ということで進めさせていただくことになる。</p>
<p>今の計画では、現但東中の中に小学校が入ることだが、実際、現状で教室の数などは足りるのか。もし足りないのであればどのように改修等をするのか。</p> <p>但東中には、現状プールが無いが、かなり具体的なことだが、どのように整備されるのかお伺いできればと思う。</p>	<p>まず、但東中をどう改修するのかについては、これから、学校側と教室の利用状況等を確認しながら、具体的な計画を作成していくこととしている。</p> <p>例えば竹野中では、元々1学年2クラスずつ教室があったので、ある程度教室を整理しながら、例えば5、6年生については、中学校棟を使用し、1～4年生まではについては、低学年棟を新築し、そちらを使用することを考えている。但東の場合は旧給食センターもあるので、どのような形で利用するのが動線的に良く、子ども達が過ごし易くなるのかなどについても、今後検討していくことになる。</p> <p>具体的な教室の配置などについては、皆さんからの合意をいただくまでに設計などを進めることができないので、具体的にそこまでは進んでいない。ただ足りない部分については当然整備をしていくことになる。</p> <p>プールについては、今、市内の小学校では、基本的にはどこも屋外プールを整備し、水泳の授業をしているが、近年の猛暑や急な悪天候で、屋外プールが使用し辛い状況になってきている。多少移動が必要となるが、基本的には可能な限り、民間の屋内プールを使用していく方向に切替えていきたい。</p> <p>例えば但東の場合、今の但東中からだと出石B&Gまでバスで通える距離であり、専門的なコーチからの指導も受けられる。屋内で温水なので夏場だけでなく、年中通して授業の調整をしながら実施が可能となる。</p> <p>今但東の話をしたが、市内の学校では、今年からモデル校を作り、基本的には、屋内プールの利用に切替えている状況である。従って、但東中についてもプールは新たに整備しない方針である。</p>
<p>但東中にある旧給食センターでは、当初はそこで給食を作り、配食していた。温かい食事が食べられて、とても評判が良かったように思うが、途中からコスト面からか廃止になり統合さ</p>	<p>確かに旧給食センターについては、せっかくの施設が残っている状況がある。現状では、経費などの部分も含め整備し、豊岡、日高、出石の3センターで運用している。もちろん子ども</p>

<p>れ、遠方から給食が運ばれるようになったが、それも色々な問題、事情があるかと思うが、この統合に当たって食育という問題も含めて、値段だけでなく食育という分野からも、そこで給食を作れる、地域の米や野菜をなるべく使用するような方向へ切替えていくことは可能かどうかお聞きしたい。</p> <p>前向きにご検討いただけないか。例えば、保護者の方々が子ども達に温かいものを食べさせてやりたい。例えば、私の勝手な意見ですが、保護者や地域がいくらか負担をするから、前向きに、それは皆さんの話し合いで決めることだが。そういったことも、地域と一体となった取組ということで検討していただきたい。</p>	<p>達にとっては温かい給食をできるだけ、現地で出せば一番良いが、その点については、正直難しいと考えている。</p> <p>ただ、3センターでは、それぞれ地産地消ということで、取組は進めている。目標として30パーセント以上の地産のものを使うという目標を立て、それをすべてクリアしながら進めていることもご理解いただければと思う。実現が可能かどうかについては、具体的には難しい。貴重なご意見として承りたい。</p>
<p>この計画により、資母小が廃校となった場合、コミュニティの場が一つ失われることになる。そうなった時に、放課後や土曜日、日曜日に子ども達が遊ぶ場所が、なくなっていく。なので、例えば、資母小がなくなった場合、学校の遊具などの責任者もいなくなってしまうが、その学校の遊具があり、そこで遊べることにより、保護者や子ども達が集まりやすいという考えだが、その遊具等を利用できないか。</p>	<p>学校の跡地をどう利活用するのかということにも繋がり、それでは地区の方で他に、例えば遊具を置けるところがないかなど、色々な話がでてくると思う。</p> <p>基本的に、今学校があって学校職員が遊具についても点検をし、市からも業者へ委託して点検をしているので、管理者がいない状況で、もし事故などがあった場合に、誰が責任を取るのかといった課題も出てくるので、例えば、閉校しても遊具を置いておくので自由に遊んでくださいというところまでは現状では言えない状況である。</p> <p>今後どのように跡地を活用していくのかも含めて、その部分は、まだ何も決まっていない状態なので、皆さんからどういった機能が要るのかということも含めて考えていく必要がある。現状ではそういった課題があるので、遊具をどうぞとは言いづらい状況をご理解いただきたい。</p>
<p>まだ少し早いかもしれないが、カリキュラムについての考えを聞きたい。多分今の6年と3年の教育のカリキュラムがあると思うが、今聞いたように例えば三つに分けるのであれば、おそらく教科書も変わってくるのではと思う。その時に例えば独自のテキストを作るとか、ここでしかできない教育とおっしゃいましたが、例えば何かオリジナルの教材を作るとか、そういったことも、既にお考えなのかということをお聞きしたかった。多分そういったものを作るとしたら、今現有の先生の戦力だと足りないとか、そういったことにも多分関わってくると思うが、その辺りのことを聞かせてほしい。</p>	<p>今ある例えば数学や国語といったカリキュラムについては、文部科学省が指定しているので、区分を4-3-2にしても教科書通りに履修しなくてはいけないので、これについては今と同じである。</p> <p>ただ、独自の教材を作った場合には、当然、教材も要るし、どんなふうに学ぶかという学び方も要るので、独自のカリキュラムが必要となる。どんなものをするかによるがそれによっては、教科書に準じるような副教材を作っていく必要がある。</p> <p>そこに教育委員会が関与しながら一緒に作るということは当然可能ですし、どんなことをするかによっては、振興局や学校長もそれに関わることになるかもしれない。可能性としてはあると考えていただきたいと思う。</p>

<p>小学校1年生から中学校3年生まで授業開始の時刻は一緒だと思う。ただ、終業時刻はだいぶ差ができてくる。今、全但バスの減便が大きな問題だと思う。特にこの但東町では、保護者が、隣接の京都府など、非常に広範囲で仕事をされている。というなかで、今は高橋、合橋では、合橋小に放課後児童クラブがあり、高橋の方もここまで迎えに来ておられると聞いている。資母でも同じような扱いとなった場合、特に雪の降る地域なので、時間の制約など、保護者の負担が非常に大きくなる。</p> <p>また、この地域は人口が激減するなか、移住者の方々が、段々と定住されるなど、地域での頑張りが、形に表れてきている。統合により、子どもの送迎が、移住者の方々に負担になってしまうと、今までやってきた頑張りが、報われなくなる。移住者の方々にとっては、特に学校の教育という部分が、非常に重要視されていると思う。出来ることならば、全但バスさんなどにもご理解いただき、それこそしっかり、通学というものに関して取組んでほしい。</p> <p>出来ることならば、放課後児童クラブについては、学校のあるところにか所とは限らず、コミュニティ単位で置いていただける状況が一番望ましいと思う。</p>	<p>通学バスの関係については、現状一定の距離以上、小学校では3キロ以上、中学校では6キロ以上の場合に、バス通学とさせていただいている。</p> <p>ただ、統合の場合も基本的にはそれに準じた扱いになるが、広域の統合になると、校区をまたいでの通学になるので、今後、地域の方とどういった通学ができるのか、どういったところまで市から提供できるのか、ご相談させていただきながら、今後調整させていただければと思う。</p> <p>冒頭の説明でもあった通り、全但バスが運転手不足で、非常に苦勞されている。今現状では、市や学校のことだからということで最大限配慮していただいている。この点についても、全但バスその他の事業者等と連携、相談させていただきながら進めていきたい。</p> <p>下校便のバスについては、現状5校時終わり6校時終わりに、2便出させていただいているが、仮に義務教育学校となった場合についても、5校時終わり6校時終わりに、これまで通り運行したいと考えている。</p> <p>放課後児童クラブについては、コミュニティごとに置きたいという意見がある。小中一貫校にした場合に施設的に、設置場所をどうするかということも考えていく必要がある。ご意見としてお伺いして、今後、準備委員会などができるなかで、例えば、学校の中に専用の施設を作った方がよいのではなど、地域のご意見を聞きながら進めていきたい。</p> <p>実際の事例として、竹野地域では、小学校は統合したが、竹野南地区に関しては、コミュニティセンターを使用し、独自で放課後児童クラブを開設している状況である。一方で開設するにあたり、子ども達の安全確保ということが大変重要になってくる。そうなってくると、学校があれば、そこには養護教諭が配置されているので、何かあれば対応できる。実際こういう事例も出てきているので、それらのことも踏まえ、今後、色々な協議を進めるなかで検討していきたい。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■アンケートでの意見（全件分）

- 小学校が統合することは知っていたが、今回説明を聞いて具体的にどんなふうに進んでいくのかが、よく分かった。
- 地域との連けいが大事。旧高小では、地域とのかかわりが沢山ありました。村を育てる教育、子供達が、我がふるさとを誇りに思えるように！そんな教育を地域と共に作りたい。
- 子供達のために何がいいのか、地区も含めて結論を出していただきたいと思えます。
- 子どもがどう幸せになっていくかを、みんなで話し合っ決定していくのだろうと思えます。

ただの統合ではなく、義務教育学校へ向けての新しいシステムに希望を持ちたいです。

- 2027（R 9）4月開校する、施設一体型小中一貫校に期待しています。義務教育学校として、地元の東井教育を基本理念とする、新しい（仮称）但東学園が、素晴らしい学園となるよう大いなる希望をもっています。また、こども園も併設し、0歳～15歳まで学べる、育てられる保育、教育施設になればと思います。早く、開設準備委員会を立ち上げ、保護者の意見を十分にとり入れた夢のある学園ができることを、大変、期待しています。
- 地域から子供達の数が減っていくのは、止められませんが、その中でも、但東地域で出来ることを迅速に進めていただきたいと思います。
- 具体的質問が多いという事は、会場の皆様の頭の中に具体的な映像がうかんでいるのではないか。
- 地区内での話し合いの方法、進め方の例があれば。スクールバスの一般利用を。義務教育学校の課題となっている事例があれば。
- 絶対に複式学級で子どもたちが学ぶことは避けたいです。2027年度～の統合で、延期されることなく話が進んでほしいです。自分の出身地域から小学校がなくなるとさみしいといった意見よりも、現在をこれから生きるための子どもたちのための統合であることを考えてほしいです。但東に平地であそびやすい公園がありません。廃校になった学校（グラウンド）に公園の整備をしてほしいです。統合しても1クラス20人弱のクラス。少ないけど適度な集団ができると思います。現在こども園に就園しているものの意見を特に取り入れてほしいです。
- より良い方向をお願いします。
- 地域の方々の協力がとても重要なんだと思いました。資母として地域の良い所がたくさんあります。子ども達も体験して学んでいく姿は、すごく大事だと思っています。
- 魅力的な面もあるが、地区から日中、子どもがいなくなるのは、さみしく思う。利活用問題もしっかりと話し合っていく必要がある。
- 5、6校時終わりにバスと聞きましたが、部活等の後はどうなるのか？全但バスが減っているのでどうお考えですか？
- 私自身小学時代と中学時代に学校統合を経験してきました。その当時は不安と期待が入りみだれていました。しかしクラスの人数が増えた事により、多様な学校生活を送れたと思います。今後、全国、豊岡市での統合は増える一方であると思いますが、主人公は児童、生徒という視点で考えたいと思います。
- 小中一貫校について、基本的に賛成します。少子化の流れに変わりは今はない。地域住民がいなくなってしまうのは、学校が成りたちません。教育内容が良くなるイメージは出来ました。子供の教育は、期待していますが、無関心な大人の問題が何とかならないかと思います。地域を含めた、しっかりした話合をしてほしい。
- 神戸新聞6月27日付、現論によると国連事務次長中満泉氏の記事が掲載されている。それによると、OECDが行っている15歳生徒の学習到達調査によれば、日本の教育は学力では世界的に高いレベルを維持しているが、思索型・深究型の批判的思考は、世界に後れをとっている。別の質問項目「明らかな解決法が存在しない問題を与える」について、参加国平均中学校で37.5%日本では16.1%と最低レベルである。これは、但東中学に私が提言した郷中教育を再認識してもらうべき事柄である。また社会的にも多様な背景を持つ人々いることが重要であると記述している。但東中学を訪れ教頭先生と話し合いを致しましたが、尖った人物を育てる重要性の認識では一致するのであるが、それを実行するための時間を作れない等、日本教育と一致するところである。「教育に投資しない国の未来はない」OECD平均を下回る教育への財政支出を増やし、働き方改革を推し進め、教師が教育の専門家として尊重される環境を整えるべきだ」と中満氏は述べている。教育こそがあらゆる問題解決の中核にある。「自分の行動で社会や国を変えられると思う」と思う若者が50%を切る自己肯定感や自己効力感が低い日本を活性化するために、為すべきことは多い。」と述べている。以上、私の考えと一致するところを記述いたしました。やがて、遠い未来になるかもしれませんが、パソナの南部代表のような人物が

登場して但東町を救済してくれるやもしれません。教育に財政支出を行い、立派な教育者が生まれ、生徒の長所を伸ばさせる教育を望みたい。

- ふるさと教育→地元をより深く知ることの大切さ。地域の財産をしっかりと見聞し、ふるさとを思い、またふるさとに帰って、ふるさとを思い、大切に育てる（良くする）教育も大事である。童謡「ふるさと」の様に！！（例）中山に有る子午線の日時計の意味。その周りの樹木の意味等々地元の良さを9～10才までに覚えてもらい、幼い時代を思い出す、ふるさとを愛する教育、目で見て、体で覚える教育も体験学習が大切です。
- 今日の説明会に参加をして、感じたことは、子どもが減るから、数年後には学校を統合することありきで物事を進めているように思いました。数年後には、この児童になりますよではなく、今後どのようにして増やすかも議論として必要ではないでしょうか？通学に関しても、バス通学になるのはしかたがないです。距離も距離ですが、最初に夜久野の話でバス通学で肥満が増えたと話がありましたが、5時間目と6時間目でバスに乗って帰るんやったら、そうなるでしょう。運動不足になりますもん、放課後にクラブ活動ではないですが、スポーツできる環境を整備してほしいです。学童クラブについても、できれば各校区に一つ設置して欲しいです。通勤で帰宅時に遠回りして帰る。冬は特に堪えます。また、統合したら、運動会みたいなコミュニティがなくなります。跡地の運営も別組織でやるみたいに感じたので、ますます、地域との関わりが薄れると感じました。中心部に高齢の方がわざわざ訪問しますか？バスもどんどん無くなってるのに。
- 本日のような説明会を小学校単位でも開催して欲しい。学校の統合について但東町でも加速的に検討する機会を増やして欲しいと思います。
- 但東町内令和5年度出生人数は5名と聞いています。12年後の但東中1年生の基本数と考えます。10年後、20年後、但東町から出石に通学する事もあり得ると考えられますが、教育委員会として今回の説明会は今後10年程の話でしたが、その先の長期ビジョンはお待ちですか？私は、どのような状況下でも但東町で人生を楽しめる力、東井先生の言葉で言うと、村を育てる力を今の子供に教えたいと考えます。弱者救済は行政の役割と位置付ける事が多く感じますが、行政として楽しい未来ビジョンを示してください。
- 施設一体型義務教育学校の早期実現が望ましいと感じています。そこで、今後の進め方を例として挙げて頂いていますが、「地区内での検討」「3地区間での検討」の内容やスケジュールを具体的に案として示して頂きたいです。丁寧な説明も重要かと思いますが、この検討に時間をかけ過ぎると開設準備委員会の設置とその協議並びに施設整備に十分な期間をとれないように思われます。
- 教育のタームが変化することにより教材の変更が必要かと思いますが、教育長のお話しにもあったように独自の教材やプログラムを作成するのはやぶさかでない。ただ、独自のテキストを作るとなると相当の労力が必要になると想像されます。それを現場の先生がすべて担当されるとなると、それこそ労働環境の改悪になりかねません。例えば、そういった教材をアウトソーシングする、コンサルを採用するなど外部の力を借りることなどはできないものでしょうか？義務教育学校という新たな取り組みに舵取りをすること自体は大きな決断であり、期待も大きいです。できれば、これを機会として「革新的なカリキュラムで田舎の学校が都会にない負けない教育を得る」くらいのメリットを得ることを目指すのは良いのではないかと思います。だとすれば、広い知見を持って教材づくりをすべきではないかと思った次第です。
- 子どもを中心に議論されることを期待しています。
- 率直に、小中一貫にする必要があるのかなと思いましたが。理由は色々ありますが。個人的には、今の資母小学校が維持できるようになればと思います。人数の事もあり、小学校の統合はいつかは仕方ないのかなと思っていますが、小中一貫というのはどうなのかなと思いました。
- 児童クラブやこども園などは資母地区にあるとありがたいと思います。義務教育学校はメリット、デメリット色々ありますが但馬内の義務教育学校実施校として自慢できるような学校になればと思います。但東給食センターの意見がありましたが、私も但東給食センターの再開を前向きに検討して頂きたいと思います。

- 説明会では大変分かりやすくお話し頂き理解することができました。行政のご提案にも共感します。但東地域の現状から、計画して頂いている義務教育学校での学校整備が理想的だと思っております。先行している竹野地域を参考にさせて頂き、スケジュールに沿って行政と私たち地域とが協働して設置に向け進めたいと思っております。私の子どもは合橋、高橋小学校の統合を経験しましたが、統合後、元気に学校生活を送っており子どもの順応力の高さを感じています。統合検討には大変な苦勞がありました。行政には多方面に渡り配慮や調整をして頂き、保護者、地域と検討を重ねた結果と思ひ感謝しております。ありがとうございました。学校を一本化することで、学校と地域の方との距離は離れる場合もありますが、地域の方々の子も達への愛情を学校でつなぐ仕組みが大切と思ひます。そのために、地域住民が学校や子ども達に寄り添うことができ一緒に楽しむことができる催しや事業などの工夫が必要と思ひます。子どもの教育環境を整えることを第一に考え、地域はその事を理解することが大前提です。教育環境の整備は、行政の責任にせず、保護者、地域が同じ意識で取り組みたいと思っております。そのために市のリーダーシップをぜひともよろしくお願いいたします。
- 統合後の義務教育学校に通うことになるのは、現在、こども園に在園中である未就学児が多いため、この世代の親の意見をしっかりと聞いていただけたら嬉しいです。頻繁になっても構わないのでオンラインでのアンケートなど取り入れていただけたら回答もしやすいかと思ひます。中学生にあたる子たちの制服をこの統合を機会に、すてきな皆が着ることに楽しみを持つようなデザインのものに変更できたら良いなと思ひます。
- 教育長さんの説明はわかりやすく、すんなり理解することができました。確かに6、3制の小中学校は今の時代に合っていないと思ひます。9年間でしっかりと、コミュニケーション能力、英語力、非認知能力を身につけることがなによりです。但東地域らしく東井教育をしっかりとまなび、地域住民と一体となり、特色あるコミュニティスクールをめざしてください。早急に小中一貫施設一体型義務教育学校をめざして、準備委員会を立ち上げてください。小中学校保護者に限らず、これから入学する0歳児などの保護者の意見を十分に聞いて「夢のある学園」づくりをめざしてください。そのために、できる限り早く、資母小学校PTA、コミュニティ団体から統合にかかる要望書が提出されることを願っています。